

# 第2学年 国語科学習指導案

3組 児童 男子14名 女子11名 計25名 指導者 藤 館 千 春

## 1 せつめいのしかたを考えて「おもちゃの作り方カード」を書こう

教材「しかけカードの作り方」 著者名 古内 光 「おもちゃの作り方」 (光村図書2年下)

### <身に付けたい力>

- しかけカードを作り、「説明のしかた」について意識をもつ力
- おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書く力

言語活動

おもちゃの作り方カードを書く

## 2 単元について

第1・2学年における読むことの目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しく読書しようとする態度を育てる」である。また、書くことの目標は「経験したことや想像したことについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる」があげられている。

本単元では、絵や写真を用いながら「しかけカードの作り方」を手順に沿って述べる説明の工夫を身につけ、その力を生かして「おもちゃの作り方」の説明書を言語活動として設定した。この説明書は、学級の友だちに紹介することを目的としている。次単元の「書くこと」の「おもちゃの作り方」と密接に関係することから、「読むこと」「書くこと」を組み合わせることにより、「読むこと」で身に付いた力を使って「おもちゃの作り方」を書くことが、より効果的な習熟につながると考え、領域を複合させた単元を構想した。

本教材「しかけカードの作り方」では、実際に説明書を読みながらしかけカードを作り、筆者の説明の書き方に目を向けさせる。子ども達は、叙述に沿って学習を進めながら、書かれていることを理解するという読みの体験とともに写真から多くの情報を受け取りながら内容を理解する体験もできる。「しかけカードの作り方」は、作業を伴う文章であるため、何度でもフィードバックして読むことができる教材である。

文章の通りに手を動かしながら読むことによって、書かれていることを正確に理解することができる。また、手順や事柄の順序などに気を付け、写真と文を照応させながら読むようにしていく。また、「おもちゃの作り方」を書く時には、内容のまとまりごとに分けて配置し、順序を表す表現を用いながら、手順に沿って書くように配慮していく。

### 【単元の目標】

- 「しかけカードの作り方」を読んで、しかけカードを作り、「説明のしかた」について意識をもつことができる。
- おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書くことができる。

### <単元の評価規準>

#### 国語への関心・意欲・態度

- ・事物の作り方に興味を持ち、書かれていることを読みとろうとしている。
- ・学習したことを生かし、分かりやすく事物の作り方を説明しようとしている。

#### 読む能力

- ・手順、事柄の順序などに気付いて読んでいる。(1)イ
- ・写真と文を照応させながら読んでいる。(1)イ

#### 書く能力

- ・初めから終わりまでを、内容のまとまりごとに幾つかに分けて配置し、手順に沿って書いている。
- ・絵と照応させながら書いている。(1)ア・イ・ウ

#### 言語についての知識・理解・技能

- ・順序性を示す表現の意味を理解している。(1)イ(ウ)
- ・順序を表す表現を用いて書いている。(1)イ(ウ)

### <児童の実態>

子ども達はこれまで、説明的な文章の学習として、「くちばし」では、絵や写真と文を照応させ、「たんぼぼのちえ」や「どうぶつ園のじゅうい」では、時間や事柄の順序を考えながら読む学習をしてきた。また、書く活動としては「たんぼぼのちえ」や「お話のさくしゃになろう」では、はじめ・中・おわりの構成を考えて文章を書く学習をしてきた。これらの学習を通して、時間を表す言葉に着目したり、問いやまとめの文を捉えたりできるようになってきた。しかし、自分の思いを読み手に分かりやすく文章で表現することは十分とはいえない。

また、子ども達はペアやグループでの学習形態にも徐々に慣れてきており、インタビューなどを取り入れながら考えの交流ができるようになってきているが、グループ学習については十分とはいえない状況にある。

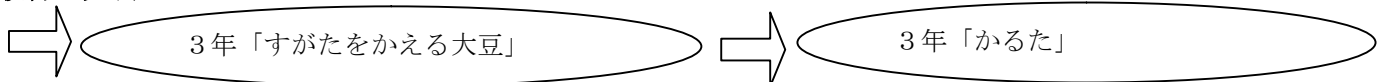
3 学習指導計画（全12時間）

<本単元における必要な既習事項>

・要点 ・段落相互の関係 ・段落構成図

時	目 標	学 習 活 動	評価規準（評価方法）
<b>第一次 単元の学習のねらいを知り、学習の見通しを持つ</b>			
1	おもちゃの作り方の説明書を書くというゴールを知り、学習計画を立てることができる。	○学習課題を設定し、単元の見通しを持つ。 ・「しかけカード」がどんなものかを知り、学習計画を立てる。 ・並行読書の仕方を確認する。	【関】しかけカードの作り方に興味をもち、書かれていることを読み取ろうとしている。（観察）
2	教材文を読み、作り方の見通しをもつことができる。	○作り方の説明とそれに合う写真を順に並べ、作り方の手順を確かめる。	【関】しかけカードを作るために、文章と写真を合わせながら読もうとしている。（観察）
<b>第二次 筆者の考えたことに対する自分の考えを読み深める。</b>			
3 4	<作り方>を見ながら、しかけカードを作ることができる。	○<ざいりょうとどうぐ>を読んで作成の準備をし、<作り方>を読みながら作成する。 ・しかけカードを作って、思ったことや考えたことをノートに書く。	【読】事柄の順序を考え、文章と写真を合わせながら読んでいる。（観察・ノート）
5	「しかけカードの作り方」の文章構成について	○「しかけカードの作り方」の説明が4つのまとまりの構成になっていることを読み取る。	【読】分かりやすく説明するためのこつを教材全文文から見つけようとしている。（ノート・観察）
6 本 時	筆者の「せつめいのこつ」を見つけ、まとめることができる。	○手引きをもとに、分かりやすかったところや言葉を見つけまとめる。 ・サイドラインを引きながら考える。 ・発表しあいながら、「こつ」をまとめていく。	【読】作ったときの体験をもとに、文章を読みながら、説明のこつをみつけている。（発表・記述） 【言】順序性を表す表現の意味を理解している。（ノート・観察）
<b>第三次 身についた力を活用しておもちゃの作り方カードを書く。</b>			
7	なかむらさんの説明書「けん玉の作り方」を読んで、「せつめいのこつ」の使い方を確かめることができる。	○おもちゃの作り方カードの書き方を確かめる。 ・「けん玉の作り方」を読んで、「せつめいのこつ」の使い方を確かめる。 ・1つの説明をするのに、いろいろな表現があることに気づき、より分かりやすい表現を考える。	【関】「けん玉の作り方」を読んで、説明の仕方を確かめている。（観察、発言）
8 9	おもちゃの説明書カードを、「せつめいのこつ」を使いながら分かりやすく書くことができる。	○おもちゃの作り方カードを「しかけカード」や「けん玉」のカードを参考に書く。 ・4つのまとまりになるように書く。	【書】おもちゃの作り方カードを、まとまりや順序を考えながら書いている。（記述）
10 11	書いた説明書を読み返し、自己批評することができる。説明書を読み合い、読んだ感想を伝え合うことができる。	○書いた文章を読み返し、清書をする。 ・「チェックカード」を使用しチェックしながら読み返す。 ・友達どうして読み合い、感想を伝え合う。 ・チェックカードや友達からのアドバイスをもとに推敲し、清書する。	【書】書いたおもちゃの作り方カードを読み返し、つながりのある文章を書いている。（カード） 【話】作り方カードを読み合い、読んだ感想を伝え合っている。（観察）
12	他の作り方や遊び方などが書いてある本を読んで説明のこつを見つけることができる。	○選んだ本の中から「説明のこつ」を見つける。 ・ふるうちさんの「説明のこつ」を探す。 ・新しく見つけたこつを伝え合う。	【読】ほかの使い方、遊び方が書いてある本を読んで、説明のこつを見つけている。（ノート）

<教材の発展>



#### 4 本時の指導（6 / 1 2）

##### （1）目標

○筆者の「せつめいのこつ」を見つけ、まとめることができる。

##### （2）本時の指導にあたって

- ・筆者の説明のこつについて読み取った後に、ペアで自分の考えを確認し理解する場とする。また、学び合いの場では、説明のこつには、どんな効果（よさ）があるのかをグループで考えさせる場を設定する。

##### （3）展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点・評価
つかむ・見通す 5分	1 前時までの学習を振り返る。  2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">せつめいのこつを見つけよう。</div> 3 課題解決の見通しを持つ。 ○教科書の手引きを見ながら確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈前書き〉、〈材料と道具〉、〈作り方〉、〈使い方〉の順に書かれていたことを確認する。</li> <li>・自分がしかけカードを作った時に参考にしたことをもとに工夫を見つけさせる。</li> </ul>
考える 10分	4 学習場面を音読する。 ○〈作り方〉を全員で音読する。  5 一人学びをする。 ○筆者の説明のこつにサイドラインを引く。 ○ペア学習でどの段階にどんな工夫があるか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や順序が書いてあるところを意識させながら読ませる。</li> <li>ア、順序を表す言葉</li> <li>イ、写真と文を合わせる</li> <li>ウ、数字を使う</li> <li>エ、することと、注意を分ける</li> </ul>
深める 学び合いの場 20分	7 学び合う （1）説明のこつについて、全体で話し合う。 ○全体で話し合いながら、決定線（青線）を引く。 ○説明のこつをノートにまとめる。 （2）説明の工夫にはどんな効果（よさ）があるのか、グループで話し合う。 （3）説明のこつにはどんな効果（よさ）があるのか、全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい。</li> <li>・正しく作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イを確認するときは、順序ごとに番号をふり、対比させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt;</p> <p>筆者の説明のこつを見つけることができる。  <span style="float: right;">（発言・ノート）</span></p> <p>・個への支援：4つの項目についての視点が書かれたヒントカードを基に、説明のこつを見つける。</p> </div>

<p>ま と め る</p> <p>10 分</p>	<p>7 学習のまとめをする。</p> <p>○学習したことを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの「せつめいのこつ」を自分の言葉でまとめる。</li> </ul> <p>8 本時の学習を振り返る</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習は分かったか。</li> <li>・進んで発表することができたか。</li> </ul> <p>(2) 学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったこと、がんばったこと</li> <li>・友達のがんばり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板を振り返りながら、4つの「せつめいのこつ」をまとめる。</li> <li>・おもちゃの作り方の説明文を書くときには、前時に学習したことを含め、8つの「せつめいのこつ」を取り入れながら書くことを確認する。</li> <li>・今日の学習を通して、身につけた力が実感できるように自己評価(◎○△)と学習内容についての感想の観点で振り返りをさせる。</li> <li>・次時は、おもちゃの作り方の「せつめいのこつ」を見つけることを確認する。</li> </ul>
--	---	--

## 5 板書計画

しかけカードの作り方

ふるうち ひかる

④ せつめいのこつを見つけよう。

○ なんども読みかえたところ  
○ 書いていてよかったところ  
○ つかっていてよかったことば

せつめいのこつ

① じゅんじよをあらわすことば  
② しゃしんと文を合わせる  
③ 数字をつかう  
④ することとちゆういを分ける

よさ

- ・分かりやすい
- ・正しく書くことができる

ふりかえり